



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月24日

上場会社名 株式会社 ASJ
 コード番号 2351 URL <http://www.asj.ad.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 丸山 治昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 茂喜
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 048-259-5111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	560	6.5	11		9		4	
29年3月期第1四半期	525	66.3	79		81		80	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4百万円 (%) 29年3月期第1四半期 84百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	0.60	
29年3月期第1四半期	12.60	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	4,577	3,159	69.0	402.39
29年3月期	3,908	2,067	52.8	306.12

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 3,159百万円 29年3月期 2,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,530	10.5	30		28		20		2.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,947,100 株	29年3月期	7,253,500 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	94,900 株	29年3月期	511,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	7,125,640 株	29年3月期1Q	6,352,200 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	P. 5
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(会計方針の変更)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気や個人消費の回復等により、緩やかな回復基調が継続されております。

このような経済状況の中、当社グループでは、将来的な企業規模拡大に向けた研究開発活動を行ってまいりました。更に、既存のクラウドサービスが堅調に推移したこと等から、当第1四半期連結累計期間における売上高は560,294千円（前年同期比6.5%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加え、当社とのシナジー効果により、子会社の収益化が進んだこと等により、営業利益11,469千円、経常利益9,885千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,309千円となり、第1四半期の時点で、前年同期と比較して84,365千円の収益改善を実現いたしました。

(単位：百万円)	平成30年3月期 第1四半期連結累計期間 実績		平成29年3月期 第1四半期連結累計期間 実績		前期比
売上高		560		525	+34
売上総利益		228		163	+64
営業利益（損失△）		11		△79	+91
経常利益（損失△）		9		△81	+91
純利益（損失△）		4		△80	+84

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、資金調達の実施等により、前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が600,927千円増加し、4,577,130千円となりました。また、負債につきましては、子会社取得時に借り入れた短期借入金の返済等により、1,417,511千円となりました。純資産につきましては、四半期純利益の計上及び資金調達の実施等により、3,159,619千円（前連結会計年度末比1,091,921千円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、下記の表のとおり、当社グループの売上高及び利益が第4四半期に集中する傾向であること及び当初の予想の範囲内で推移していることから、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

(参考) 平成29年3月期及び平成30年3月期連結経営成績、通期業績予想

(単位：百万円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
平成29年3月期	525	△81	574	△4	533	△4	662	47
平成30年3月期	560	9	—	—	—	—	—	—

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通期業績予想	2,530	30	28	20

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,147,585	1,748,512
受取手形及び売掛金	116,274	90,504
有価証券	9,666	9,647
商品及び製品	36,601	38,817
仕掛品	19,264	34,035
原材料及び貯蔵品	1,260	1,758
その他	279,927	310,348
流動資産合計	1,610,579	2,233,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	519,584	514,584
土地	793,720	793,720
その他(純額)	25,785	25,590
有形固定資産合計	1,339,090	1,333,895
無形固定資産		
のれん	257,524	249,730
その他	628,883	682,309
無形固定資産合計	886,408	932,040
投資その他の資産	68,660	66,153
固定資産合計	2,294,159	2,332,088
繰延資産	3,380	11,416
資産合計	3,908,119	4,577,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	78,736	80,172
短期借入金	991,000	523,000
未払法人税等	17,341	10,793
賞与引当金	19,982	24,966
その他	522,142	572,438
流動負債合計	1,629,203	1,211,371
固定負債		
退職給付に係る負債	141,993	136,208
役員退職慰労引当金	24,440	24,440
その他	44,783	45,490
固定負債合計	211,217	206,139
負債合計	1,840,421	1,417,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,250	1,373,833
資本剰余金	778,175	1,242,194
利益剰余金	595,029	585,854
自己株式	△228,858	△42,460
株主資本合計	2,063,596	3,159,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	177
為替換算調整勘定	71	18
その他の包括利益累計額合計	237	196
新株予約権	3,863	—
純資産合計	2,067,697	3,159,619
負債純資産合計	3,908,119	4,577,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	525,972	560,294
売上原価	362,025	331,972
売上総利益	163,947	228,322
販売費及び一般管理費	243,788	216,853
営業利益又は営業損失(△)	△79,841	11,469
営業外収益		
受取利息及び配当金	247	22
業務受託手数料	—	149
その他	171	197
営業外収益合計	419	369
営業外費用		
支払利息	1,659	1,269
その他	375	683
営業外費用合計	2,035	1,953
経常利益又は経常損失(△)	△81,456	9,885
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△81,456	9,885
法人税、住民税及び事業税	378	5,576
法人税等合計	378	5,576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,835	4,309
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,779	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△80,056	4,309

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△81,835	4,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	12
為替換算調整勘定	△2,789	△53
その他の包括利益合計	△2,883	△41
四半期包括利益	△84,719	4,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,940	4,267
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,779	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 1 四半期連結会計期間において、行使価額修正条項付第 1 回新株予約権の行使による自己株式の処分及び新株発行により、資本金が454,583千円増加するとともに、資本剰余金が464,019千円増加、自己株式が186,397千円減少しております。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間末において、資本金は1,373,833千円、資本剰余金は1,242,194千円、自己株式は42,460千円となりました。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しておりましたが、当第 1 四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法による税金費用の計算における簡便的な方法に変更しております。この変更は、各四半期の利益に対応した税金費用を精緻に計算して計上する為であります。

なお、当該会計方針の変更による前第 1 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用はしていません。